

【相場ゼミ 無料講座 第1回】

相場：皆さん、こんにちは。相場師朗です。

渡辺：ナビゲーターの渡辺ゆうこです。これから4話に渡ってお届けいたします無料講座では、億超え株トレーダーを育てられました相場先生が実践されているトレード手法を解説いただきます。今年のマーケットにフィットした売買のタイミングや判断基準などに迫っていきたいと思います。どうぞご期待ください。

相場：これは無料動画ということで、無料なんですよ。お金がかからない、なんか怪しい。そんなことないですね。無料でも、十分皆さんに、それなりの株式投資、あるいは人生において大きな変化を持っていただけるような内容を、しっかり入れていこうと思っています。ぜひ最後までご覧ください。

渡辺：それでは早速、相場先生のご紹介をさせていただきます。相場師朗さんは、投資歴30年以上の株職人でいらっしゃいます。国内外の金融機関で、ディーラー、ファンドマネージャーとして活躍され、早期リタイアの後、自己資金の運用を行っていらっしゃいます。元来職人肌気質だったこともあり、株の道、「株道」を究めるべく、狭く深く株の技術を磨く株職人です。江戸時代からある「うねり取り」をさらに進化させた手法は、再現性の高さと、練習すればトレード技術が上がると評判で、弟子のお子様や、友人など、日々増え続け、早くも億単位の資産を築いたお弟子さんも多数いらっしゃるということです。

相場：億単位。億、というのは人生の目標のひとつではないですか。億万長者、というぐらいですから。先ほど、いい読みをしてくださいましたが、弟子のお子さま。ある60いくつの方が、私の弟子になられて、よかったから、娘も入れると。で、親子で通ってください。ある学校の先生が私の弟子になって、私の講義にずっと通われて、で、お嬢さんも来ると。そういう親子で来てくださる、というのは、まさにしっかりお伝えできてるからなのかな、という感じがします。

渡辺：すごいですね、お孫さんまで来ちゃったりして。

相場：そうだといいですね。そのぐらいには私が90歳になるかな、という感じですが。

先ほどお話がありました、株職人。実はそういう職業は世の中にはなくて、私が株職人というのを考えました。世の中に匠とか、職人という言葉があります。私は、人間国宝など、そういう言葉が大好きで、私自身のめりこんでいくタイプなのです。昔、シュークリームがおいしいものだから、毎日4つ、5つも、3カ月ぐらい食べまくりました。そしたらシュークリームが嫌いになっちゃいました。その次は、初めてアイスコーヒー飲んで、これも好きだから、ガンガン毎日飲んだら、1カ月ぐらいで気持ち悪くなりました。でも、

株は34年やってまして、まったく大丈夫。

職人といいますと、どうやってきたかという、日本郵船という会社があります。何千億円と売り上げている会社ですが、この会社の株を20歳のときに初めて買いました。このときはアルバイトをして貯めた60万円を投入して、徐々に徐々にやってきて、それから日本郵船だけ売り買いを続けて、20億円までいきました。

株式の銘柄はいろいろあります。ソニー、パナソニック、セコム、いろいろありますが、日本郵船だけ、アイスコーヒーだけ、シュークリームだけ、というように、職人というのはひとつのことを深く深く掘り下げて、そして技を磨いていきます。この方法だと一般の人でも練習をしていくと上手になれます。

キャベツの千切りのお話をよくしますが、このスタジオにスタッフたくさんいますが、たぶん、あなた以外はキャベツの千切りは下手だと思います。

渡辺：私もそこそこ。

相場：そこそこね。キャベツの千切りができなければ、このスタジオから1年でも2年でも返さないぞ、と言われたら、きっとみんな真剣にやると思います。最初10個やって、20個、100個。そして、200、300個やりますと、私でも結構上手になると思います。キャベツを切りながら、ソーセージを切りながら、人を切りながら、などとやっていると、なかなか上手になりません。キャベツはキャベツだけ。しかも包丁は同じ包丁で。そうすると感覚が出てきます。これが職人技です。この方法だと弟子が育ちます。

ということで、株職人です。ストラテジストとか、アナリストとか、何々ストといいますが、彼らは基本的には自分で売り買いをほとんどしていません。私の場合、あるいは私の弟子の場合は、東京株式市場に自分のお金を実際に入れて、そしてその資金を使って、切った張ったして、上手になっていった職人です。現場の職人。これが一番強調したいことです。ファンドマネージャーとか、ディーラーとか、そういうことではなく、職人ということを強調したい、職人を育てていきたい、というのが今の私の一番のライフワークです。

渡辺：相場先生、二十歳で初めて株を買われたということですが、早いほうではないですか。

相場：実は親父がやってました。2階から居間に下りてくると、階段の音がするじゃないですか。そうすると親父がね、座椅子の後ろになんか隠すんです。親父がトイレ行ってるあいだに、座椅子の後ろに隠してあるものを見たら株のチャートでした。「なに、親父、こんなの夢中になってるんだ」と子供ながらに思いながら育ちました。大学に入ったときに、やっぱり同じDNAが入ってるんです。、やってみようかな、と思ってそれが今になってしまったという感じですね。

渡辺：お父様に習ったことは何かあったんですか。

相場：親父に習ったのは、ごはんの食べ方、学校を休むときの電話のしかた。そんなものです。

渡辺：二十歳で60万円というお金を用意された。それも当時としては結構な金額ではないですか。

相場：当時、体育会系だったから、ビルの掃除をやりました。窓にぶらさがって、危険だから給料がいいんです。一日7000円。当時で7000円。それを毎日やったら、1カ月15万か16万になる。これを一生懸命貯めていきました。

渡辺：堅実ですね。

相場：剣術(けんじつ)ですね。一応、空手だけど。

渡辺：株道で。そんな株道を広めてらっしゃる先生ですが、お弟子さんの中には、バラエティーに富んだ方々がいらっしゃるということで、弁護士をされていた方、お医者様、若くしてインターネットビジネスで成功をおさめられて、今では海外移住されちゃったなんていう方もいらっしゃるんですよ。

相場：一番印象に残っていて、私の弟子の中でも最も圧力がある人間がいます。女性なんですけど、10年間教えまして、教えたのは最初の1年とか半年なんですけど、そのあとずっと弟子でいてくれまして、4億円の利益を出して海外に移住してしまった人もいます。それから皆さんもよく知ってる、テレビコマーシャルをやってる、某美容外科の院長、彼も私の弟子になって、そして院長を辞めて、今は株一筋の株職人、職人まではいってないかな。

渡辺：もうちょっとですか。

相場：もうちょっと。でも、プロですね、一応なりました。それから、大きな会社の専務さん、常務さん。東大の先生など、珍しい人もいます。日本のビジネスで大成功して、会社を売却して、そして海外に移住したグループ、こういう人たちもいます。

一般の主婦もいるし、学生さんもいる、サラリーマンもOLもいらっしゃる。ただ皆さんに共通して申し上げているのは、カルチャースクールではなくて「硬派であれ、勤勉であれ」。そういう人達が集まってきてる感じですね。

渡辺：社会的に成功された人も、かたやご自宅で主婦などされてる方や、引退された方々

も、等しく同じように利益をあげられるんですか。

相場：あげられます。それは技術ですから。私が34年積み上げてきたものを、技術として皆さんにお伝えしている。例えば、自転車乗れますか？

渡辺：はい。

相場：自転車乗れるようになった前の日って、乗れなかったと思うんですよ。それが乗れるようになった。でもいきなり乗れたというよりは、転びながら、すりむきながら、そうやって上手になりますね。同じです。技術だから。株は技術なので、まったく同じです。誰でも上手になる、あまり脳みそは関係ありません。キャベツ切るのが上手になるのと一緒ですから、大丈夫です。

渡辺：スピードの個人差はあっても、みんなうまくなれるわけですね。

相場：そうですね、練習をたくさん。株で練習というのは信じられないと思いますが、これは練習です。私の湯のみにはね、「練習、練習、練習、鍛錬、鍛錬、鍛錬、相場師朗」と書いてあります。

渡辺：ゴルフみたいですね。

相場：これみんなに配って。ゴルフと一緒にです。練習をすれば上手になります。ただし、人によって差はあるけれども、100で回れるようになるとか、それはできるようになります。車の運転も教習上に通って、免許をとれば、上手下手はあるけれども、路上運転できるようになるじゃないですか。そんな感じでいけるようになると思いますよ。

渡辺：その素晴らしい技術ですが、通常株トレーダーで成功された方は、ご自身の成功の秘訣をあまり教えたがらないという話をよく聞きますが、なぜ相場先生はそんなに広くお弟子さんをとられてらっしゃるんですか。

相場：私は、株で大きな資産を作ってリタイアをしました。しばらく、いろいろ企業経営者やったり、買収したり、いろんなことやってました。でも、ある程度リタイアしたあとですから、意外と身が入らない。たぶん、自分のDNAじゃないことをやってきたのだと思います。

そのときにある会社の社長に、株の教材を作らないかと誘われました。これ、あまり乗り気じゃなかったんです。ところが、あまり乗り気じゃないものだから、その社長に今日一日で撮影しますからと、会議室に閉じ込められました。それで出したのが、『7step 株式投資メソッド』というやつです。これが結構売れちゃいました。

それでいろんな人から「おかげさまで～」とかメールが来る、これが結構うれしい。リタイアして自由じゃないですか。海外に今から行ってもいいし、明日からグアム島行ってもいいし、ハワイ行ってもいいし、あの世行ってもいい。なんでも自由なだけけれども、自分の教材を使ってくれる方がいらっしゃって、お礼のメールが来る。お礼の電話が来る。誕生日プレゼントが届けられる。これ、うれしいものです。

今度はリアルなセミナーをやったら、すごい集まってくれて、老若男女、みんな一生懸命聞いてくれる。で、成果を出してくれる。50歳を越えてそういうのを味わうと、自分の利益を度外視して、人の喜びが自分の喜びになる、というのを初めて味わいました。

だから、野球選手がよく、「ファンの皆様のおがげで」っていうけど、あれ違うと思ってました。だって、年俸5000万も1億もとってるんだから、スタンドにファンなんかいなくても、打ったり投げたりしてればいいと思ってるんだろう、と思ってました。けど、今になって、たくさんの人にセミナーに来ていただいて、そしていろいろな人と親しくなると、厳しく教えて、皆さんが上手になっていくのを見ると、やはりプロ野球の選手がいう「ファンの皆さん」と同じ気持ちになりますね。

それで遅まきながら50歳越えて教えるようになりました。よくいわれるんですよ。そんなお金持ってるのに、なんで教えるの？そんな技法、なんで教えるの？教えたいから教える。教えるようになった経緯はそんな感じです。

渡辺：しかもそんな頃に比べて、先生、今やる気がマックスだとか。

相場：マックスなんです。なぜかね。弟子がどんどん育っていくと、目に見えて育っていくからうれしいです。それから教え始めた頃は50歳ぐらい、今54歳です。4年経つと、もっとおじさんになってきて、もっと人のため、という感じがしてきます。あと30年も経ったらなると思います。

渡辺：今ご覧いただいている方は、その4年前の方よりもかなりラッキーなんじゃないでしょうか。

相場：そういうことです。その理由は、例えばアナウンスの仕事をされているけれども、初めてアナウンスの仕事をしたときってやっぱり緊張するし、読みも間違ったり、早さがどうこう、抑揚、イントネーション、いろいろあるじゃないですか。でもだいたい続けられてくると、間も作れるようになり、聞いている人を意識して話せるようになります。そうすると、昔よりも、今のほうが安定感が出てきますよね。

同じように、私も初めて教えたときは、なんでこんなことがわからないんだろう、って思った。ところが、教える期間が長くなるに従って、どこがわからないか、どうしてやったらもっと上手になるか、など4年間でわかってきました。

ですから、今回、今から誰かに教えるとしたら、過去の34年の蓄積と、人に教える4年の蓄積、それから年齢を重ねて優しいおじさんになった、これ全部含めるとたぶん今弟

子をつくったら、かなりいけるんじゃないか、という感じはしますね。

渡辺：皆さん、ぜひ期待していただきたいと思います。では、さっそく第一話の本題に入っていきます。相場先生、第一話の無料講座では、「株の短期トレードがチャンスなのか」についてお話をお伺いしていきたいと思いますが、まずは株トレードの魅力について簡単に教えてください。

相場：簡単に。下世話な話ですが、お金が増える。つまり資産形成に役に立つということ。それから株式トレードをして、どこかソニーでもパナソニックでも買う。お金に働いてもらっている間に、自分は会社に行って仕事をしている。もしパナソニックを買っていたとしたら、今、アナウンスの仕事をされているあいだに、東京マーケットでは利益を生み出す。つまり、お金に働いてもらう。自分が働いている間に、お金に働いてもらう。しかも、普段サラリーマンとか自営業をやっていて、信じられないぐらいの金額に、やがては育っていく可能性がある、ということ。一番の魅力はやはりそういうところではないかと思います。

渡辺：自由な時間を手に入れられるわけですね。

相場：自由ってすごく大事だと思うんですね。私は小学校のときに、先生に夢はなんだったと聞かれて、はい、定年退職です。

渡辺：堅実。

相場：親父が明治生まれで、厳しいわけです。それで、学校の試験は100点とらないとだめ。偏差値でいうと75以上とらないとだめ。学校は熱が40度あっても休めない、学校休んじゃだめだ、行きなさい。とにかく厳しかったんです。試験はいつも100点じゃなきゃだめ、クラス委員にならなきゃだめ、児童会長にならないとだめ、空手やりましたから、常に勝たなきゃだめ。一生懸命働いた小学生でした。で、夢は定年退職。退職金もらえるかどうか、わからないけど。実際に、自由になりたかったわけです。

たぶん、アメリカ人も自由になりたかったと思います。自由の女神があるぐらいだから。たぶん、皆さんも自由になりたいと思います。自由になるためには、ひとつには、経済的自由、それから身体的自由、それから思想の自由とありますけど、基本的に経済的に自立しなければ自由にはなれないですね。体が元気で、思想もいいのに、給料月4万円だと、自由な時間ないじゃないですか、働かないと生きていけないから。従って、まずこれは経済番組ですから、思想の自由とか身体的自由は置いておいて、とりあえず経済的自由を得られないと、ほんとの自由になれない、ということです。

私は今、トレードに要する時間は、夜、あるいは朝、5分。1日5分ぐらい。毎日。それでも何億円。

渡辺：それは時給じゃないですね。秒給ですね。

相場：秒速なんていう人もいたけど。非常に自由な時間が増えていきます。

仕事をする自由だってあります。その気になれば、私はどこかでバイトもできますからね。居酒屋でバイトやってみようかな、と思って、なんか元気になるじゃないですか、「いらっしゃいませ！」とかね。タクシーもいいかなと思ったり。あるいは、今からおなかすいたから、タクシー呼んで、銀座の吉野家に行こうかなと。

渡辺：高い吉野家ですね。

相場：うちは成城学園なので、銀座までタクシーで行くと 5000 円。5000 円かけて 400 円の牛丼食へに行くも自由。ほんとにおいしい料理を食べに行くのも自由。ちょっと寒いから南の島に行こうかというのも自由。一日中寝てるのも自由。問題は、女の子にもてたいという自由はないね。あれは向こうの考え次第だから。

渡辺：女の子を好きになる自由はありますよ。

相場：それは、経済的自由がなくてもなれます。ふられっぱなしですけど。とにかく自由っていいなって思いますよ。ほんとに、解き放たれて、やりたいことをやる。ただ、自由だからって、泥棒していいとか、痴漢していいとか、そういうことじゃないけれど、健全な自由というのは、経済的な豊かさから。もちろんそれだけじゃないですけど、でも、自由は得られる気がしますね。

渡辺：そんな自由を皆さんもきつと切望されてるのではないかと思いますけど、でも私はちょっと初心者として、株の魅力はわかっているけど、どうしても暴落とか、日経平均がまた下がったなどというニュースが流れると、不安のほうが大きくて踏み出せないんですが。

相場：よく皆さんが、NHK ニュースを見て、今日の東京株式市場の日経平均株価 400 円下げました、よく証券会社の映像が出て、証券会社の前でおじさんが呆然として、「大変だ、どうしよう」

渡辺：この世の終わり。

相場：この世の終わりだとか、首つったとか、そんな話が出てきますけど、実は私のやり方、私の作ったやり方ではありませんが、株は安く買って高くなって売却をすれば、その分利益が上がる、というのが一般的です。これはやります。

もうひとつはですね、高いときに空売りというのをやって、下がったときにそれを終わ

りにする、下がるほうで利益を取るという方法もあるのです。これは昔は一般的ではなかったんですが、2000年ぐらいからですから、15、6年ぐらい。下がっても利益が出るという非常に簡単な方法です。買うときにポンと買うと、買う。ポンと売ると売れる。ポンと下がるほうに資金を入れると、下がったときにポンとやると、下がった分利益になる。簡単にいうとそうです。だから、買うことと、下がるほうにお金を入れることは、まったく同じです。難しいようだけど、簡単ですよ。ちょっとこういう言い方は嫌なんだけど、上がるのを当てる、下がるのを当てる、両方利益になります。

ですから、例えば皆さんがご存知の、小泉純一郎総理大臣がいらっしゃいましたが、小泉さんが総理大臣の期間、2003年から2005年までの間、3年間の間に、東京株式市場の日経平均株価は8000円から18000円までいきました。大体2.何倍ぐらい。この間、2.何倍になる間、上げ続けたのではなくて、当然3年間ですから、上がったりが下ったりして、上がっていきます。そうすると、この間2.何倍ですけど、上げも取る。つまりここから、ここで買ってここで売れば2.何倍なんですけど、その間、上がったりが下ったり、上がったりが下ったり、この上げも取って、下げも取って、上げも取って、下げも取って、365歩のマーチみたいになってきましたけど、この間のギザギザを伸ばした分、利益取れます。実際は8000円から18000円は、2.何倍ですけど、上げも取り、下げも取り、上げも取り、下げも取り、ここにギザギザがあるものを伸ばした分だけ利益ですから、実は20倍近くになるわけです。

私が皆さんにお伝えしてるのは、上昇も取ろうじゃないか、そして下落も取ろうじゃないか。1年間の株価の動きを見ると、簡単にいうと、半分は下がっています。上がったりが下ったりしてるわけですから、下げだけ取れば半分、上げだけ取れば半分。従って買っただけで株式市場で勝とうと思えば、上げ下げ半分なんだから、1年のうちの半分を狙って、そのうちの半分以下しか取れません。ところが、上げも下げも取っていただくと、非常にいいわけです。変な例えですけど、昼間だけ働くのと、昼も夜も体が疲れなければ働き続ければ、もっと働く部分が増えるのと同じような、そういう感じ。

下げというのは、むしろ私の弟子たちの間では、歓迎なんです。下げで、億万長者になった人いますし。私の全財産のうちの65%は下げで利益を出しました。ですから、ご心配されている下げというのは、暴落というのは、心配ないです。

渡辺：むしろ喜んでいいと。

相場：静かに喜ばないと。こないだラジオ出たときに、ディレクターに、今、下げてますから、そんな喜んだ顔しないでください、もっと神妙な顔で出てください、と言われて。だってラジオだから顔は大丈夫でしょって話でした。

渡辺：上げと下げ、両方というのはちょっとわかりましたが、株以外にも投資方法はあると思うんですが、それに関しては、どうなのでしょう。

相場：株以外の投資方法というと、宝くじ。

渡辺：なるほど。だいぶ確率が、

相場：低いですね。例えば、宝くじで銀座の売り場に行って、体を右に向けて、右手を40度に向けて、お金を差し出すと当たるんだったら、それはいいですよ。要するに、技術で取れる。ところが、どんな格好で買っても、当たるときは当たるし、当たらないときは当たらない。つまりまぐれなんですね、あれは。だからまぐれじゃなくて、技術で宝くじができるんだたらいいけれど、まぐれだから、資産形成としてはふさわしくない。次にあるのが違法カジノ。これは違法だからだめです。次に考えられるのが、FX。

渡辺：多いですよ、されてる方。

相場：実はFXというのは、私は昔為替ディーラーですから、一番よくその世界を知っていますが、FXというのは一般の方が参入したら、ほとんど負けます。断言はできないけど、全部負けるとはいいません。上手な方もいらっしゃるけど、気軽に入って行って、普通にしていたら、基本的には負ける方のほうが多いと思います。

今から約1カ月前、日経平均株価も下がって、そのときに為替が111円とか、112円から、107円ぐらいまで円高になった。昔は、私が現役の頃はそんなことはありませんでした。わずか3日で3円なんて。この3円とか4円の下げで、おそらく資産が飛んだ人、いっぱいいるはず。それぐらいFXというのは、安易に入れるんだけど、少ない金額で参入できるんだけど、練習も準備もしないで入っていくし、値動きも激しいし、寝てる間にお金なくなっちゃう。これほんとにあるんですよ。FXは怖いんですね。プロがいうんだから、ほんとに怖いんです。

FXを勧めてる人は、いいよいいよ、といますが、それは売りたいからいうんだけど、やっぱりほんとに公平な見地でいくと、一般の方が、ほんとに真剣にやるには、株のほうがいいなという感じはします。ただ確かにFXのプロもいて、利益を出してる方がいらっしゃるのも事実。

あとは投資でいうと、不動産。よくお金が儲かったら、宝くじ当たったら不動産でも買って、あとは一生家賃収入で生きていくんだってみんな考えますね。でもね、考えてください。2億円のアパートを買ったとします。宝くじ当たった、2億円のアパートを買った。そして、家賃収入が入る。いいね、と思うけど、実は入ってきた2億円が、アパートと交換になるわけです。つまり増えてない。

家賃は毎月入るけど、今、東京の不動産の利回りは5%以下といわれていますから、2億円のものを買うと、2億円手元に戻ってくるためには、20年ぐらいかかっちゃいます。従って、2億円持ってたなら2億円使えるのに、入ってきた2億円でアパートを買って、入ってくるのは毎月どうでしょう、年間2000万で10%だから、1カ月50万しか入ってきません。2億円あったのに、自分がアパートを買っちゃったから、手元には毎月50万しか入

ってきません。20年経ったら、私なんか74歳ですよ。だったら、アパート買わないで、2億円持ってたほうが、で、使ってたほうが、増やせそうでしょ。

途中で、建物が古くなって、網戸替えなきゃならないとか、改修があるとか。入居者が入らなくなったら、家賃入ってこない、ということにもなります。管理もしなきゃならない。電球が切れたら電球交換しなきゃならないとか。そういうことがあって、不動産は思ってるほどではありません。実は私も不動産投資、さんざんやりました。

渡辺：そうですか。

相場：これは別のやり方でやりました。だけど、なかなか厳しいです。それからバブル時代、1989年、日経平均株価が39000円いったあたり。あのぐらいに不動産をバンバン買った近所のおやじがいました。タバコ屋のおやじが、40億です。ところがバブルが崩壊して、そのおやじはどうなったかという、あの世に。結局、高くてつかんで、ガーッと下がっちゃって、家賃じゃ追いつかない、ということになってしまいますから、不動産投資も気軽に入るのは危険。

消去法でいくと、少ない金額から積み上げてきた、それから今まで弟子を育ててきた、その私の経験からいうと、基本的にしっかり技術を身につけていけば、安全なのは株式投資なのかな、と思います。だから本気でやれる。まがいものだと本気でやれないじゃないですか。自分が確信を持ってるから、本気でやる。

渡辺：その先生の、堅実でより安全なやり方を、教えていただけないでしょうか。

相場：そのやり方は、「うねり取り」といいます。株価は上がったり下がったりします。上げっぱなしというのは絶対ない。下げっぱなしというのも絶対ない。上がったり下がったりして、上がっていく。あるいは上がったり下がったりして、下げていく。ただこれを全体を下げ、全体を上げというけども、上げ下げがあります。この上げ下げを、うねりと捉えます。上がっていくときは買いで取って、下がっていくときは下げの売りで取る。また上がってきたら買いで取る。また下がってきたら下げで取る。というように、うねりを取っていきます。

これ「うねり取り」といいまして、江戸時代からずっと、本物の相場師はこの「うねり取り」をやってきました。元々は、米相場で使われていたプロの技法です。過去、大きな資産を形成した人たち、皆さんも知っている形成してきた人たちは「うねり取り」で取ってこられました。

いろいろなやり方がありますが、私はこの最新版、現代版に合わせた「うねり取り」を皆さんにお伝えしています。株価は上げ下げがあるということと、うねりを取っていくということ、それから下げでも取れる、上げでも取れる。これを今まで知らなかった方が、これを実践しただけで、格段に変わってきます。

あとは深く狭くの職人技を身につけていただくと、去年や一昨年まではなかった現象

が、皆さんの資産形成に起きてくるかなと思います。この技についても、無料動画とスタッフはいますが、無料でもね、べつに私、教えても減らないから、教えていこうかなと思っています。

渡辺：ありがとうございます。さて、第一話はそろそろ終了のお時間が近づいてしまいましたので、先生、今回のポイントをお願いします。

相場：今回のポイントは、一般の方が考えられないような資産、例えば、1億円だとか5000万円だとか、大きな資産を形成していくには、実は株式投資が最適で、夢のようだと思うかもしれませんが、現実にはそれをされてる方がいらっしゃるし、私の弟子の中にもそういう方がどんどん出てきている、ということです。ですからぜひ、株式投資を、今この時期にされるとよろしいんじゃないかと思います。

そしてその株式投資において、今まで世の中の常識となっていた「買い」を行って、上昇の利益を取る、ということだけではなくて、下落の幅を取っていくことも簡単に、簡単にできます。これが皆さんによく理解していただきたいことです。

そして、その先にあるのが、皆さんの生活の自由。いろいろな自由がありますけど、経済的な自由による自由が得られるんじゃないかということです。基本は技術ですから、努力をしないと上手になりません。がんばっていただける方は、いくらでも未来が待っています。小学校のときに、書道の書き初めで、「希望の光」というのがありました。一般の方にとっては、事業を起こしたり、いろいろなことをするよりも、株式投資が一番いいのではないかと思います。他に考えつかないです。私は54年、金融も含めて、企業経営もやってきて、株式投資をお勧めしたい。ただし、安全に技を磨いていっていただく、ということが条件になるわけです。

渡辺：ありがとうございました。皆さん、ぜひ無料動画の第二話もお楽しみにしてください。なお、この動画の感想コメントをいただきますと、素敵な特典がございます。ぜひ投稿いただきまして、貴重な特典を手に入れてください。それでは、皆さん、次回お会いしましょう。さようなら。